

一般質問

下道恵子
議員

- 「認知症カフェ」の開設について
- 有害鳥獣被害対策とその駆除事業について

そのほかの質問

- ・移住定住促進に向けた住宅相談の対応について
- ・北陸新幹線金沢駅開業と観光客増大に向けて



問 イノシシやサルなどの対策としては、おり、わなの仕掛け、侵入防止のための金網柵や電気柵等設置していい

答 「健康の駅 湯つたり勝山」で、福祉協議会が開催する家族支援事業とあわせて、月1回「認知症カフェ」を開催し、今後、状況をみながら開催場所等を拡大していく予定。市内でも地域や民間で認知症サポーターの養成講座の実施など様々な取り組みを行っていることから、それらの活動と連携して「認知症カフェ」を充実していきたい。

問 「認知症カフェ」は、認知症の方、その家族の方などが気軽に寄り、お互いに交流をしたり、情報交換をする息抜きの場所。市でもぜひ「認知症カフェ」の開設を考えてほしい。また民間施設で実施希望があれば支援をお願いする。

平成27年度の市の対策として「効率よく効果的な鳥獣害対策を行う集落をモデルに支援する事業」があるが、現在の状況はどうか。また、捕獲されたイノシシの処分をペット葬祭業者に委託し、各地区の埋設の負担の軽減をはかる駆除事業の活用がどの位あったのか

答 集落鳥獣被害対策モデル事業は、モデル地区を選定し、効果的な被害対策のアドバイスをを行うための支援委員会の設置にかかる条例を議案として提出している。今後速やかに事業実施に取り組み。ペット葬祭業者による火葬処理希望集落は28集落。8月末までの火葬処理件数は15集落、火葬したイノシシは31頭となっている。今後はさらに集落の負担軽減のためにどのような対策が取れるか検討してまいります。

が、年々増加している。平成27年度の市の対策として「効率よく効果的な鳥獣害対策を行う集落をモデルに支援する事業」があるが、現在の状況はどうか。また、捕獲されたイノシシの処分をペット葬祭業者に委託し、各地区の埋設の負担の軽減をはかる駆除事業の活用がどの位あったのか

一般質問

倉田源右門
議員

- 地方創生の具体的施策について
- 知財(商標、特許、意匠)戦略について



問 昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が公布されたことから、各県、各市では、総合戦略を策定し、地方創生のための具体的施策を打ち出すこととしている。勝山市における地方創生施策は、他市と類似のものではなく、特徴のある独自の施策が必要である。市長は、どのような勝山市独自の施策を考えているのか

答 特に入力したい独自施策としては、まず勝山市に年間170万人以上訪れている観光客をターゲットに、新たな雇用の創出と確保をめざす観光の産業化がある。道の駅の整備や、まちなかへの観光客誘致の拠点となる花月楼の活用、長尾山総合公園再整備、事業の更なる推進等、「まち」を整備し、「ひと」が集まり、「しごと」につながる真の「勝山市の創生」を実現したい。

昨年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が公布されたことから、各県、各市では、総合戦略を策定し、地方創生のための具体的施策を打ち出すこととしている。勝山市における地方創生施策は、他市と類似のものではなく、特徴のある独自の施策が必要である。市長は、どのような勝山市独自の施策を考えているのか

問 ①事業経営における知財戦略について、市でも知的財産権取得に要する経費を補助対象としている。今後とも事業の周知を図るとともに、商工会議所での無料相談や知財支援アドバイザーの活用など企業訪問活動等を通してPRしていきたい。

答 ①商標などを登録することで、商品による商品のブランドとして価値の向上が期待できる等、事業経営の向上や企業活動の向上に繋がるものと考えている。②商標登録については、市でも知的財産権取得に要する経費を補助対象としている。今後とも事業の周知を図るとともに、商工会議所での無料相談や知財支援アドバイザーの活用など企業訪問活動等を通してPRしていきたい。

定、ESD教育の推進等、勝山市の特色ある教育をさらにPRしたい。①事業経営における知財戦略について、市でも知的財産権取得に要する経費を補助対象としている。今後とも事業の周知を図るとともに、商工会議所での無料相談や知財支援アドバイザーの活用など企業訪問活動等を通してPRしていきたい。